



第1号 令和4年4月15日(金) 文責 合志市立合志中学校 校長 境 敬一郎

## 令和4年度スタート



新型コロナウイルス感染状況が、拡大と収束を繰り返す中、令和4年度が始まりました。4月11日(月)に、人数の制限、マスクの着用等の対策を行った上で、第76回入学式を挙行了しました。今回は、本校体育館の不具合により、会場を合志市総合センター「ヴィーブル」に変更して行いました。希望に満ちた259人の新入生を迎え、全校生徒739人が揃いました。

本校は、今年創立76年目を迎えます。「平成」から「令和」へと時代が移り変わってきた中で、校訓「自律・向学・誠実・創造」という創立当時の思いを受け継ぎながら、教育目標を「自らが未来を描き、自分を最大限に高め、夢実現をめざす生徒の育成」と掲げてい

ます。この目標達成のためには、まず教職員が「志を合わせ」、生徒一人ひとりに視点をあて、一人の生徒の百歩ではなく、全ての生徒の一步ずつを目指し、個人の力や可能性を3年間で最大限に高める教育活動を展開していきたいと考えています。そして、その結果、生徒一人ひとりのスクールプライド、つまり「合志中学校の生徒でよかった」とみんなが誇りに思える気持ちを高めていきたいと思っています。今年度も、教育方針へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



### ～入学式（校長式辞の一部を紹介します）～

(略) 皆さんもよく知っているであろう「ウサギとカメ」の話で、予想を覆し、カメがウサギよりも先にゴールに辿り着くという話です。カメがウサギに勝った要因は、ウサギが油断して居眠りをしたから・・・確かにそうかもしれません。しかし、この話は見方を変えたと、このようにも考えることができます。スタートの時、ウサギとカメが見ていたもの、それはゴールである山の上に立つ一本の旗でした。しかし、ウサギは途中でゴールの旗ではなく、下から登ってくるカメを見始めてしまったのです。一方、カメはウサギなど一度も見えていませんでした。カメが見つけたものはゴールの旗、すなわち目標です。カメにとっての一步はそんなに大きくはありません。しかし、カメは小さいながらも一步一步自分のペースで、止まることなく歩き続けました。また、カメはそこで諦めることなく「この困難は自分に与えられた試練だ」と困難な状況に感謝し、歩き続けました。

多くの人は、自分に困難が降りかかると「どうして自分ばかり」と思いがちです。しかし、いろいろなジャンルで成功を収め、名をあげてきた人たちには共通するものがあります。それは、このカメのように「困難や試練に出会ったとき、そこから逃げない」ということです。きついことや苦しいことがあっても、途中で止めることなく、最後まで諦めずに、何度も何度も違うやり方でチャレンジを続けているのです。本当の意味での「失敗」とは、他人と比べての勝ち負けではなく、ウサギのように、目標へのチャレンジを途中で止めてしまうことではないかと思えます。これからの中学校生活、心も体も大きく成長します。楽しいことや嬉しいことがたくさんあるでしょう。そして、成長する途中だからこそ、きついことや自分の思い通りにいかないこともあるでしょう。しかし、自分の立てた目標に向かって、逃げることなく、このカメのようにコツコツと努力し続け「目標や夢」を手にしてほしいと願っています。先生方や先輩たちは、皆さんの目標の実現のため、精一杯手伝いをしたいと思っています。一緒に頑張りましょう。(略)

